

国際ロータリー第2840地区 2026-2027年度 地区運営方針

ガバナー、地区としては、

1. クラブの視点、会員の視点の理解、共有し、クラブや会員にとって、価値ある存在となるよう双方向の情報交換を行い、地区運営に反映いたします。
2. ローターアクトクラブを含む、新クラブの設立に取り組めます。
3. ローターへの信頼が高まり、ロータリーの高い価値観が評価され続けるよう、ロータリーのリブランディングを目指した計画の策定をいたします。
4. 現在、財団系委員会で提供していますが、クラブ、地区の事業の立案、実施に資する情報ツールとして「地区リソースネットワーク」の充実を図ります。

クラブに対しては、

1. クラブビジョンの策定を促し、併せてビジョンに基づいた戦略計画となるよう促します。
2. クラブ戦略計画の実践を通じて
 - ・クラブを継続させるために必要な会員規模、予算規模の確認
 - ・クラブを発展させるために必要な基盤の拡大に向けての方針の策定
 - ・クラブで実施している奉仕活動が、クラブ、会員、地域にとって価値ものであるか、地域社会へインパクトをもたらすものであるかの検証
 - ・価値ある奉仕を実行するために必要な資金確保のための財団寄付等の目標設定
 - ・会員を増強するために、地域における良い評判形成の方策の検討
 - ・クラブ戦略計画のクラブビジョンに基づいたブラッシュアップ、更新
 - ・クラブの将来へ向けた目標、目的のクラブ全会員での共有
 - ・ロータリー以外の協力者とのパートナーシップの構築
 - ・クラブの成果、実績課題解決のプロセスの蓄積
 - ・会員の家族のクラブ事業への参加促進
 - ・クラブ優秀賞の受賞
 - ・ロータリー財団補助金の活用を働きかけます。これらは、クラブ全会員が認める手続きを経ることが重要です。
3. 1のクラブ全員が共有したこれらの目標を、3-Year Rolling Goals、クラブセントラル等をツールとして推進すること、クラブ行動計画推進者による進捗状況の確認を促します。

会員には、以下のことをお願いします。

1. 会員としての個人のミッションの確立
2. 自身のロータリー、クラブへの帰属意識の再確認、強化
3. 各会員の活動の記録、目標設定、進捗の確認ツールとしての My Rotary への登録
4. My Rotary のラーニングセンターによるロータリー知識、情報の取得
5. 家族のクラブ事業への参加

ガバナー補佐には、以下のことをお願いします。

1. クラブと地区の懸け橋となり、クラブの発展、継続を支えること

2. 分区の中期ビジョン、戦略計画検討の取りまとめ

3. クラブへの依頼事項を、分かりやすく、丁寧に伝えることと合わせて、それらをクラブと共に推進すること

4. 新クラブ設立に向けた、分区内の情報の収集

地区委員会へは、

1. 以下の事項を意識した事業計画の推進をお願いします。

- ・他の関連する委員会との連携の強化
- ・クラブ、クラブ委員会への地区プログラムの目的、活動の発信による価値の共有
- ・プロジェクトを実施する上で、それがクラブ、会員にどんなリターンをもたらすか
- ・委員会活動の成果をどうインパクトのあるものにしていくか
- ・ロータリー以外の協力者とのパートナーシップをいかに構築するか

2. 委員会を以下の視点を持って運営することも、あわせてお願いします。

- ・委員会内における過去の成果等をどう蓄積し、繋いでいくか
- ・委員会の運営をどのようにマネジメントするか

地区数値目標

基本的には、クラブが決定し、3-Year Rolling Goals、クラブセントラルに掲げた数値目標を確実に達成することをお願いします。ただし、クラブの目標が以下の数値を下回っている場合は、以下の数値に目標を置き換えてください。

- | | | | |
|------------|-----------------------|------|-------------|
| ・会員増強 | 各クラブ会員純増 | 2名 | |
| ・寄付 | ロータリー財団 | 年次寄付 | 150ドル以上/人 |
| | ポリオプラス | | 30ドル以上/人 |
| | 米山記念奨学会（普通寄付・特別寄付合計で） | | 16,000円以上/人 |
| ・My Rotary | の登録 | | 90% |

地区青少年プロジェクトへの特別寄付のお願い

青少年交換、インターアクト、RYLAに加え、ローターアクトの地区青少年関係のプロジェクトに、地区内会員から地区分担金として広く資金をいただいています。

コロナ禍を過ぎ各プロジェクトの活動が活発になり、資金が不足してきています。これらのプロジェクトは、地区内全クラブが関わっておらず、まだまだ、その価値は浸透していません。一律分担金の増額をお願いするには、ご理解をいただかなくてはなりません。

そこで、全会員の皆様に青少年プロジェクトへのご理解をいただく働きかけをさせていただくのと並行して、「地区青少年プロジェクトへの特別寄付」をお願いさせていただこうと考えました。

一口2,000円とし、地区内全会員へお声がけさせていただき、いただいた寄付金は、青少年奉仕プログラムの各委員会と調整のうえ活用させていただきます。